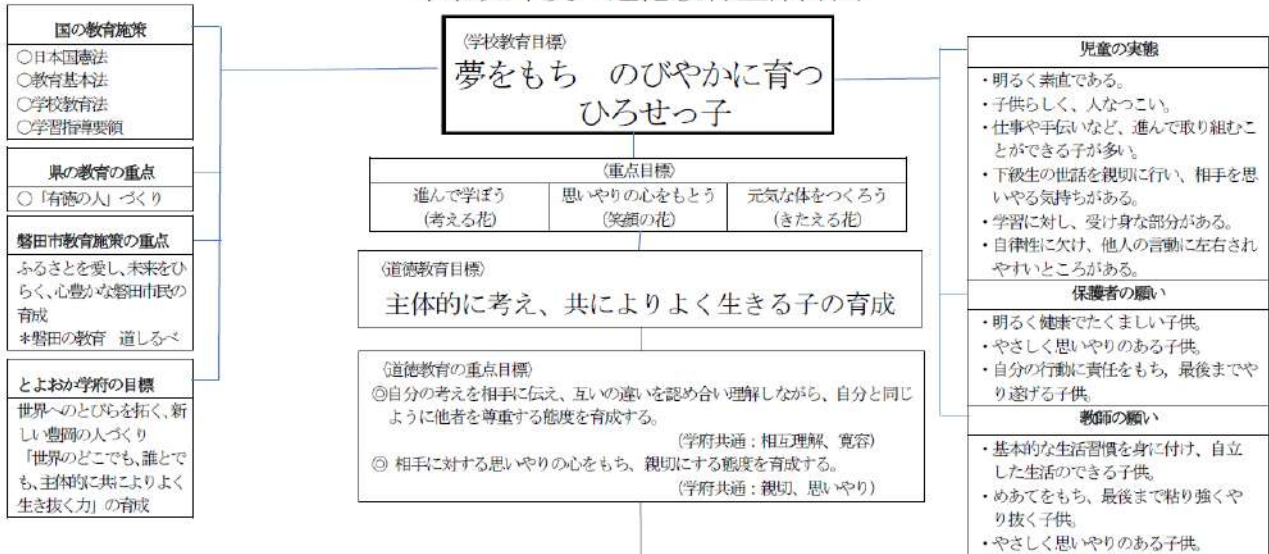


# 令和元年度 道徳教育全体計画



各教科、総合的な学習の時間、外国語活動における指導		特別の教科 道徳		特別活動における指導	
国語	文学作品等から受ける感動や生き生きとした言語表現活動を通して、豊かな道徳的心情を育てる。	○学校の教育活動全体を通して、道徳的洞察力、心情、実践意欲と態度を育てる。	○多様な指導方法を工夫し、教科との関連を図ったり、体験的活動に発展するような計画を立てたりする。 ○担任外の教師や地域の方、保護者の積極的な参加を要請し、開かれた道徳授業で積極的に対応していく。 ○価値観、児童観、教師観の三つの観を明確にした授業構想をする。 ○学び合いを大切にし、多様な考えを出し合い、友達との考えと比べながら、自己を深く見つめることのできる授業をしていく。 (指導方法の工夫) ・教材を提示する工夫 ・発問の工夫 ・話し合いの工夫 ・書く活動の工夫 ・動作化、役割演技など表現活動の工夫 ・板書を生かす工夫 ・話し合いの工夫 ○重点内容項目を中心としたカリキュラムを実践することで、様々な対象との豊かな関わりを充実させ、自己肯定感を高め、豊かな人間性が養われるようにする。 ○児童たちがねらいに迫るために、視点を定め、視点に沿って児童たちを見取り、評価する。 ・児童が、より多面的・多角的な見方へと発展している。 ・児童が、授業の道徳的価値について自分事として考えを深めようとしている。	学級活動	学校・学級生活に必要な基本的な生活習慣や礼儀作法を身に付けさせることにより、望ましい道徳性を育てる。 学級の諸問題を話し合ったり、仕事を分担したりして、実践的態度を育てる。
社会	社会的事実や事象の観察、理解を通して、公民的資質を養うとともに道徳的判断力を育てる。	学校における集団の一員としての立場を理解し、自覚をもちながらそれぞれの活動に参加することにより、実践的態度を育てる。			
算数	数学的な考え方や数学的な処理の仕方を身に付けることを通して、創造工夫をしながら新しい分野を切り開く態度を育てる。	児童全体の立場から問題を発見・解決したり、学校生活を楽しくするための行事を企画したりする活動を通して、自主的・実践的態度を育てる。			
理科	自然に親しみ、観察・実験を通して自然と豊かにふれあい、自然を愛する心を育てる。	児童の興味や欲求を満足させ、自己の生活を楽しく豊かに築こうとする実践的態度を伸ばすとともに、興味や関心を自主的に追求する態度を育てる。			
生活	体験や活動、友達との協力を通して、自立の基礎を養う。	給食		楽しい雰囲気の中で、正しく食事をするを通して、温かな人間関係を築くと共に、日常生活における望ましい食事の習慣や態度を養う。	
音楽	表現や鑑賞の活動を通して音楽の楽しさを味わい、音楽を愛する心や豊かな情操を養う。	清掃		学校を愛し、美しい環境をつくるために進んで働く心を育てる。	
図工	生き生きとした創造活動を通して、一人一人の児童の持ち味を生かし、表現する喜びを味わい豊かな心情を育てる。	生徒指導、保健指導、安全指導、養護教育、図書館教育、情報教育、人権教育、環境教育、生き方指導、福祉教育			
家庭	自分の生活を見つめ、家族の一員として家庭生活の向上を目指し、工夫・創造する能力及び実践的態度を育てる。				
体育	健康安全に留意し、友達と仲良く助け合い、最後までやりぬく態度を育てる。				
総合	体験的な活動を通して、自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合おうとする態度を育てる。				
外国語活動	日本人としての自覚をもって、世界の人々と親善に努めようとする態度を育てる。				

家庭・地域との連携			
家庭や地域が願う児童の姿を把握し、理解促進を図る。両者の連携により、同一歩調で児童を伸ばしていく努力をする。	家庭・地域との共通理解を深める。 ・学校、学年、学級だより ・わたしたちの道徳 ・参観会での道徳授業公開 ・学年学級懇談会 ・親子道徳	家庭・地域とのふれあいを高める。 ・学年親子活動	地域活動へ積極的に参加する。 ・地区活動 ・子供会活動

<学校教育目標> みんな (と) (よ) (お) (か) の子		
児童の実態 ・明るく、素直である。 ・落ち着いた態度で学習や生活に臨むことができる。 ・男女の仲がよく異学年間の交わりも密であり、協力的で温かな人間関係をつくっている。 ・進んであいさつできる子が増えてきたが、場に応じた言葉遣いは課題である。 ・自己肯定感が低い。 ・自律性に欠け、他人の言動に左右されやすい。	重点目標 「3つの花をさかせよう」  考える花 なかよしの花 きたえる花	自他のよさを認める活動の実践 児童：授業や活動（縦割り活動・学校行事・委員会など）の中で、友達や自分のよさを見つけたり、伝えたりする。 【85%】 教員：ねらいを明確にした意図的な取組の中で、児童のよさや頑張りを賞揚する。 【100%】

<道徳教育目標> 自他共に思いやる心をもつ子の育成
------------------------------

重点目標 ◎ 自分の考えを相手に伝えて、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育成する。 ◎ 相手に対する思いやりの心をもち親切にする態度を育成する。 ○ 善悪を判断する態度を養い、自立心や自律性を育成する。
<重点指導内容> ◎学府共通            B相互理解、寛容            B親切、思いやり ○豊岡北小            A善悪の判断、自律、自由と責任

<特別活動・その他における道徳教育>	<道徳科>	<各教科等における道徳教育>
道徳科の授業で育成された道徳性を具体的な場で生かす。	○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める。  ①三つの「視」を明確にした授業を構想する。 ・価値観、児童観、教材観  ②構造的な板書を工夫する。 ・教材の内容を把握できる板書の工夫（分かる） ・学習過程や学びが残る板書の工夫（見える） ・意見の違いを捉え、みんなで追究する板書の工夫（つくる）  ③ねらいと評価の一体化を図る。 ・子どもたちの見方が、多面的・多角的な見方へ発展しているか。 ・本時の道徳的価値について、自分事として考えを深めているか。	国語 言語感覚を養い、自分の言葉で表現する力を育てる。 社会 社会生活の理解を深め、考え判断する力を育てる。 算数 教理的な処理のよさが分かり、進んで生活に生かしていこうとする態度を育てる。 理科 自然に親しみ、自然を愛する豊かな心情を育てる。 生活 具体的な活動や体験を通して、自立の基礎を養う。 音楽 表現活動や鑑賞を通して、豊かな情操を養う。 図工 制作活動を通して、豊かな情操と創造性を養う。 家庭 家族の一員としての自覚、感謝や思いやりの心を育てる。 体育 健康と安全に留意し、ルールを守る態度を育てる。 外国語 外国語を通じ世界の人々と親しまうとする態度を育てる。 総合 探究的な活動を通して、自己の生き方を考える力を育てる。
学級活動 生活の中の問題を協力して解決していく中で主体性や社会性を養う。  縦割り活動 異学年集団との活動を通して、思いやりの心をもって協力し合う態度を育てる。  学校行事 学校行事に参加する中で、集団の一員としての自覚をもち、実践的態度を育てる。	○生徒指導 ・自分のよさを他者との関わりの中で高めていく子、進んで他者と関わる子を育てる。 ・互いのよさを認め合い、励まし合う学級づくりを進める。 ・確かな児童理解に基づく個に応じた指導を行う。 ・基本的生活習慣の定着を図る。 （あいさつ・礼儀・整理整頓・安全・思いやり・協力）	
	○家庭地域との連携 ・たよりやホームページ等で道徳教育について知らせ、連携を図り、理解と協力を得るように努める。 ・「親子道徳」を通して、親子で対話し、道徳的価値についての見方・考え方を深める。 ・保護者や地域の方による学習ボランティアの活用を進める。 ・学校公開日や参観会で、道徳の授業を年1回は行う。	



磐田市立豊岡中学校  
2019年度  
道徳教育全体計画

<人権教育との関わり>  
・ 自他を尊重する心を育み、集団の中で子を  
活かすことができる態度を育てる。  
・ 国籍や年齢の違いなどに関係なく、誰とて  
も同じように接することができる態度を育  
てる。

特別活動の指導の重点  
諸活動を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる場とする。

道徳教育目標  
他を思いやる心を育み、夢をもって前向きに生きようとする豊かな心を育てる

各教科の重点  
・ 基本的学習習慣を身につけた生徒の育成  
・ 自分の意見をはっきり述べ、課題に対して積極的に取り組む生徒の育成  
・ 生徒の良さを認め、興味・関心・意欲を育む授業実践

特別活動における道徳教育の方針  
(学級活動)  
学級をよりよくするための話し合いや係活動、集会活動を通して、自主的、実践的な態度、能力を育てる。  
(生徒会活動)  
生徒会本部・各専門委員会が道徳的な目標をもち実践していく能力を養う。奉仕活動に取り組み、協力的、思いやり、社会奉仕の心を育む。  
(学校行事)  
行事の意義を理解し、集団の一員としての役割を果たし、学校行事を成功させるために努力すると共に、よい校風を作ろうと努力する態度を育てる。

重点内容項目  
とよおか学府共通  
◎自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていこうとする心情を育てる。  
(相互理解、寛容)  
中学校  
◎より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする心情を育てる。  
(希望と勇気、克己と強い意志)

各教科における指導  
国語  
・ 思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。  
社会  
・ 我が国と郷土を愛するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。  
数学  
・ 筋道を立てて考え、表現する能力を高める。  
理科  
・ 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。  
音楽  
・ 美しいものや崇高なものを尊重する豊かな情操を養う。  
美術  
・ 美しいものに対する感性を豊かにする。  
保健体育  
・ 粘り強くやり遂げようとする態度やルールを守り、協力する態度を養う。  
技・家  
・ 望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解する。  
外国語  
・ 外国の文化を理解し、国際的視野に立って行動する態度を身に付ける。

各学年の指導の重点目標	
学年	指導の重点目標
1年	・ 助け合い励まし合う態度を養う。 ・ 物事に積極的に参加する意欲を養う。 ・ 自然と親しむ心情を養う。
2年	・ 生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。 ・ 責任をもってやりぬく実践力を養う。 ・ 自他の生命を大切にすることを養う。
3年	・ 他に学ぶ謙虚な態度を養う。 ・ 自ら進んで奉仕する実践力を養う。 ・ いたわり励まし合う人間愛の精神を培う。

道徳の時間  
・ 年間35時間の道徳の時間を確実に実践し、量的確保をする。  
・ 生徒たちが、自分事として問題を捉えたり、多面的・多角的に考え、議論できるような授業づくりをする。  
・ より高められた価値に照らして、深く自己を振り返る場面を作る。  
・ 事前、道徳の授業、事後実践と一連の指導過程を明確にし、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。  
・ 感動的な資料との出会いを通し、生徒の体験などから導かれた発言や心情の葛藤をワークシートで可視化する。

生徒指導の重点  
互いに思いやりの心や感性を磨きあい、自らの人間性を高めようとする生徒の育成に努める。  
集団生活や社会生活を円滑に進めていくことのできる生徒を育成する。

総合的な学習における指導  
1年「共生」防災教育を通して、自他ともに協働することの大切さについて学ぶ。  
2年「自立」職場体験活動を通して、社会との関わりの中で自分を位置づけ、将来について考える。  
3年「希望と勇気、克己と強い意志」進路と向き合い、自己の明確な目標を確立させ、それに向けた具体的な取り組み(勉強等)を通して、自ら強い意志をもって進路の決定をする。

その他の校内外の教育活動						
部活動	清掃	短学活	給食	教育相談	進路	読書指導
(希望と勇気、克己と強い意志) 目標を定め、縦割り集団で努力することで、部員の協力を高めると共に、目標を成就する強い意志をもって取り組む態度を養う。	(勤労) 身の回りの環境を整え、心を磨き合っていくために、無言で清掃することを通して、勤労の精神を養う。	(相互理解、寛容) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていこうとする態度を養う。	(節度、節制) 協力して配膳をし、マナーを守り、楽しく食事をする態度を養う。	(向上心、個性の伸長) より良い生活を送るために正しい判断に基づき、悩みを克服し、その後との生活に役立てようとする心情を培う。	(自主、自律、自由と責任) 自律の精神を重んじ、自主的に進路について考え、判断し、結果に責任をもっていこうとする態度を養う。	(人間愛) 朝読書を通して、よりたくさんの本を読み、豊かな人間性や情操を育む。

家庭・地域との連携  
○ 学校、家庭、地域のつながりの中で、生徒の道徳性を培い、集団の一員としての自覚を育てる。  
・ 望ましい生活習慣の育成(規範意識、気持ちよい挨拶、正しい言葉遣い、規則正しい生活リズムの確立等)  
・ ボランティア活動や地域行事への積極的参加  
○ 小中連携 地域小学校との連携を強化し、系統性のある授業の実施や、生徒の理解に努める。





令和元年度 とよおか学府 重点内容項目に焦点化したカリキュラム《豊岡北小学校・豊岡中学校：相互理解、寛容 ※低学年 親切、思いやり》

学年	道徳科		国語	生活		算数・数学	英語	音楽	図工工作 美術	保健体育	技術・家庭	総合的な 学習の時間	学活	特別な 学校行事等
	教材名	出版		社会	理科									
中3	5 養蚕の向こうに 6 養蚕の向こうに 7 思いやりと心のこもった贈り物	毎日新聞社 毎日新聞社 毎日新聞社	作られた物語を 読んでみよう	自然の中の生物 11月	日本の歴史 11月	多岐の計算 7月 図形 7月	Queen's Gambit 7月 Queen's Gambit 7月	いろいろな動物の 生活の仕方	高橋の作品鑑賞 7月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
中2	11 コトコト 12 コトコト	毎日新聞社 毎日新聞社	話し合おうと 聞いてみよう	生物の発達と進化 10月	近代革命の時代 2月	多岐の計算 2月 図形 2月	Lesson2 Gestures 2月	動物の生活の仕方	自然の作品鑑賞 2月、7月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
中1	10 動物の生活の仕方 11 動物の生活の仕方	毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
小6	7 動物の生活の仕方 11 プランコ	毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
小5	9 動物の生活の仕方 2 動物の生活の仕方	毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
小4	12 カワカワのついで 2 すれちがいのついで	毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
小3	11 動物の生活の仕方 2 動物の生活の仕方	毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
小2	4 動物の生活の仕方 6 バスのついで 10 ぐみのついで 2 動物の生活の仕方	毎日新聞社 毎日新聞社 毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
小1	9 もってあげたついで 10 動物の生活の仕方 12 動物の生活の仕方 3 動物の生活の仕方	毎日新聞社 毎日新聞社 毎日新聞社 毎日新聞社	動物の生活の仕方 読んでみよう	動物の生活の仕方 10月	動物の生活の仕方 10月	多岐の計算 10月 図形 10月	Lesson2 Gestures 10月	動物の生活の仕方	動物の作品鑑賞 10月、12月、2月	保健5月、10月 ダンス10月	作物の栽培4月	修学旅行4月	体育大会6月 合唱コンクール10月	
特別 活動 行事														

## むすびに

この度は、とよおか学府の研究発表会に御参会くださり、誠にありがとうございます。

豊岡地区は、静岡県磐田市北部に位置し、シソや海老芋などを名産とする田畑に囲まれた豊かな自然に恵まれた地域です。この地に、県内外からたくさんの方々に足をお運びいただき、今回の研究発表会が開かれたことに、まずもって感謝申し上げます。

さて、とよおか学府の3校が、道德教育の研究を始めて2年目になります。最初は手探りであった研究も、皆様方の御指導のおかげで、少しずつ形のあるものになってきたと感じます。これまでの道德の授業を、考え議論する道德授業へと転換し、授業を核にしなが、より一層意識して全教育活動を通しての道德教育の充実に向け、取り組んできたつもりです。本研究において、私たちが一番大切にしてきたことは、「保育園・こども園・幼稚園との連携」です。そのため、本日の研究発表会に至るまでの間、保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校の職員が集まる学府合同研修会を何度も開催し、12年間を見通した道德教育の在り方を研究してまいりました。今夏の合同研修会では、豊岡南幼稚園の事例をもとに、「道德性の芽生え」について熱い議論が交わされました。1枚の園庭で遊ぶ幼児の写真をテーブルの真ん中に置きながら、「その時、この子はどういう気持ちだったか」に、研修参加者が思いを馳せ、それぞれの立場で発言していました。まさに指導者自らが「自分事」として捉え、「多角的・多面的」に考える姿がそこにはありました。

道德教育の充実を図るには、「特別の教科 道德」を要として、各教科等との関連や家庭・地域、保幼小との連携など、いくつもの線を意図的・計画的に束ねていく必要があります。今後も、学府合同研修会を核にしなが、子供たちに道德性を育む研究を続けていくつもりです。

最後になりましたが、私たちの研究に御指導・御助言いただきました京都産業大学の柴原先生、静岡県教育委員会、磐田市教育委員会、そして本学府の教育活動を温かく見守り支えていただいている保護者・地域の方々に深く感謝し、心よりお礼申し上げます。私たちは、この研究で得たことを引き続き日々の授業で実践し、子供たちの豊かな学びにつなげてまいります。今後とも、御指導・御鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

磐田市立豊岡南小学校長 大根 富木

## 研究同人

### 御指導いただいた講師

京都産業大学現代社会学部教授 柴原 弘志 氏

### 本研究を支えた職員一同

#### 磐田市立豊岡中学校

鈴木 英司	原田 修	太田 友康	新井 達雄	萩田 純子	寺田 智彦
平野 直美	松下 文彦	鈴木 雅弘	亀井 麻子	亀山 壮志	桑田 哲
高柳 由希	宇野 隆浩	杉山 愛	太箸 暢	鈴木 拓馬	北村 唯
松浦知佐子	青島 知美	鈴木 美佳	猪原 敦子	古知 漠	大貫 隼典
服部るみ子	戸塚 千春	松崎 年秀	内藤 真希	玉井 裕子	杉浦二三夫

木村真由美

#### 平成 30 年度職員

伊藤 雅之	竹内 洋人	中山 堅登	古田 伸子	松下 綾香	山内 政子
村松 貴子	関塚 啓子	鈴木 浩乃			

#### 磐田市立豊岡南小学校

大根 富木	兼子 美	花島 隆文	小楠 悦子	加藤 善久	岡本 香里
相曾 智司	石井 巳奈	村松まゆみ	勝又 信晴	石原 順子	中山久美子
小松沙矢香	堀内理紗子	杉本 菜美	守田 美咲	長谷川靖城	渡邊 勇磨
山内 敏子	数野さつき	小松 美穂	白澤 公江	稲垣 千晶	内山 友快
織田 夏実	横原 幸乃	田中 尚子	塚本 直美	平野 立子	堀内 宏子
増山さおり	佐藤 夏子	鈴木なつ江			

#### 平成 30 年度職員

鈴木 秀幸	能海 明香	中野 由季	及川 公子	中安絵里子	深水 遥
服部るみ子	中達 美咲	山本 栄子			

#### 磐田市立豊岡北小学校

平野 篤	川島 隆	秋山 正人	奥野 寧久	櫻井 浩子	山下 幸余
牧野里江子	河合 淳	鈴木 泰子	齋藤 絢子	能海 徹	中川 陽介
山口 敬江	小林友里香	牧野 脩斗	掛井 遥奈	谷口 亜矢	柿平 大介
関本 琳	安藤千恵美	牧野 裕子	鈴木 眞澄	山本万起子	山下 和美
荒木 啓由	寺田 公子	平野 哲子			

#### 平成 30 年度職員

寺井 啓高	田邊 勝人	佐藤 公利	内田 直美	伊東 恵梨	大塚 淑乃
安部 厚志	春山 智美	小野 文子			

- 磐田市立豊岡南小学校  
磐田市上神増1 4 1 0番地  
TEL 0539-62-2155 FAX 0539-62-5410  
E-mail [toyookaminami-e@city-iwata.ed.jp](mailto:toyookaminami-e@city-iwata.ed.jp)
- 磐田市立豊岡北小学校  
磐田市下野部158番地1  
TEL 0539-62-2036 FAX 0539-62-5967  
E-mail [toyookakita-e@city-iwata.ed.jp](mailto:toyookakita-e@city-iwata.ed.jp)
- 磐田市立豊岡中学校  
磐田市合代島9 4 3番地  
TEL 0539-62-2085 FAX 0539-62-5962  
E-mail [toyooka-j@city-iwata.ed.jp](mailto:toyooka-j@city-iwata.ed.jp)





とよおか学府

平成 30・令和元年度 文部科学省 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業  
平成 30・令和元年度 静岡県道徳教育推進事業